

タイトル：『汐製菓会社の新作 58

マカロン 3』

シーン：開発会議室（序章）

（舞台は汐製菓のオフィス。社長の汐が大きなホワイトボードの前に立ち、秘書の塩田がメモを取りながら横にいる。会議が始まったばかりの雰囲気。）

汐：（目を輝かせて）塩田、ついに来たぞ！

「マカロン 3」の時代が！

塩田：（驚いて）…あの、「マカロン 2」って、いつ出したんですって？

汐：（得意げに）それはいいんだよ！重要なのは、新しいコンセプトだ。「マカロン 3」ってのは、マカロンの未来なんだ。

塩田…(メモしながら)えーっと、社長、それは
一体どういう…。

汐…(突然ホワイトボードに大きく「テキーラ
味！」と書く)これだ！マカロン^ωはテキーラ
味だ！

塩田…(目を丸くして)えっ！？お菓子に…
お酒ですか？それは…。

汐…(笑顔で)そうだ！大人のためのマカロ
ン。甘さの中に、テキーラのパンチを効かせた
驚きの味だ！これは世界を変えるぞ、塩田。

塩田…(困惑しながら)確かに驚きはありま
すが…消費者がどう受け取るかは…少し不
安ですね。

汐…(大きく頷いて)それがいいんだ！人々を
驚かせることが大事だ。常識に縛られていて
は、新しいものは作れない！

塩田…（ため息をつきながら）まあ、何が起これるか分かりませんし、試作してみるしかないですね。

汐…（力強く）その通り！よし、早速製造に取りかかれ。職人たちに指示だ！すぐに準備を始めろ！

シーン②：テストキッチン（試作の開始）

（舞台は汐製菓のテストキッチン。職人たちが忙しそうに動き回り、塩田がその様子を見守っている。汐もワクワクしながらキッチンを覗いている。）

職人A：（テキーラの瓶を持ちながら）社長、本当にこのテキーラをマカロンに使うんですか？ちよつと強すぎる気が…。

汐…（興奮気味に）もちろんだ！ たつぷり入れてくれ！ インパクトがなければ意味がないからな！

塩田…（冷静に）でも、社長、さすがに強すぎると試食した人が倒れちゃうかもしれませんよ…。

汐…（大笑いしながら）それなら「大人限定スイーツ」にすればいいさ！ 食べて酔えるスイーツ、最高じゃないか！

職人 田…（驚きつつ）でも、アルコール入りのお菓子って、ちゃんと法律に引っかからないんでしょうか…。

塩田…（心配そうに）そうですね…調べてみます。後で食品衛生法の担当者に聞いてみます…。

汐…（楽観的に）大丈夫だって！ とにかく作ってみよう。さあ、早く試作品を見せてくれ！

（職人たちがテキーラを大量に投入して、マカロンを焼き上げる。甘さと強いアルコールの香りがキッチン中に充満する。）

職人A：（試作品を皿に乗せて差し出し）社長、できました。見た目は普通のマカロンですが、匂いが…。

汐：（嬉しそうに）これだ、これだ！匂いからして革命的だ！早速、俺が試食するぞ。

（汐がマカロンを一口食べるが、すぐにむせる。）

汐：（むせながら）うおおっ！これは強烈だ！だが、このパンチカこそがポイントだ！

塩田：（不安げに）社長…顔が真っ赤ですけど…。

汐：（さらにもう一口食べながら）これこそが新時代の味だ、塩田！お前も食べてみる。

塩田…（嫌がりつつも一口食べる）うっ…強い
…！本当にこれ、売れるんでしょうか…？

汐…（自信満々に）間違いない！さあ、次は
試食会だ。みんなの反応を見て、さらに改良
だ！

シーン③…試食会場（試食会の拡大）

（舞台は街中の広場。汐製菓が設けた試食ブ
ースに人々が集まっている。汐と塩田はマカロ
ンを配りながら、お客さんの反応を見守ってい
る。）

汐…（笑顔で）さあ、新作の「テキーラ味マカ
ロン」！大人の味を楽しんでくれ！無料だ
よ！

（最初に試食するのは若いカップル。）

男性…（疑い深そうに）本当にこれ、マカロンなの？お酒の匂いがすごい…。

女性…（笑顔で）面白そう！一緒に試してみましようよ。

（二人がマカロンを一口食べると、男性はすぐにむせ、女性は驚いた表情をする。）

男性…（むせながら）うわっ…これ、本当にマカロンなのか？強いぞ…。

女性…（驚きながら）でも、意外と美味しいかも！新感覚ね！

汐…（笑って）そうだろう！これが革命的な味だ！

（次に、中年男性と友人グループがやって来る。）

中年男性…（興味津々に）テキーラマカロン？酒好きにはたまらんな！

友人…（笑いながら）お菓子で酔っ払うなんて、聞いたことないぜ。

（彼らが試食するが、全員が徐々に顔を赤らめる。）

中年男性…（驚いて）こ、これは！すごいな

…。こんなお菓子、初めてだ…。

友人…（笑って）本当に酔っ払ってきた気がする！でも、面白いじゃないか！

塩田…（心配そうに）社長、皆さんがどんどん顔を赤くしてますが…本当にこれで良いんですか…？

汐…（大満足）これが狙いなんだ！「大人のマカロン」、その名に恥じないだろう！

（さらに、親子連れがやって来るが、塩田が慌てて止める。）

塩田…(慌てて)す、すみません、お子様には
ちよつと強すぎますので…大人限定でお願い
します…。

母親…(不満そうに)そうなの？じゃあ私だけ
試してみるわね。

(母親がマカロンを食べると、驚いた表情にな
る。)

母親…(驚いて)これは…すごい！お菓子でこ
んな体験ができるなんて…。家族にも持ち帰
りたいわ！

シーン々…予期せぬ問題(障害の発生)

(試食会の後、オフィスに戻る。塩田が資料を
手にして焦っている。)

塩田…（焦りながら）社長、大変です！テキ
ーラマカロンが食品衛生法に引っかかるかも
しれません…。

汐…（驚いて）なに！？どうしてだ？

塩田…（真剣に）アルコール度数が高すぎる
と、食品としては扱えなくなるんです。販売に
は特別な許可が必要になるかもしれません
し、場合によっては、子供や妊婦さんに危険
を及ぼす恐れもあります…。

汐…（眉をひそめて）危険？俺のマカロンが危
険だっていうのか？

塩田…（冷静に）そうです…ですので、テキー
ラの量を減らすか、アルコールを飛ばして風味
だけを残す方法もありますが…。

汐…（考え込みながら）アルコールを飛ばすだ
と？それじゃあ「大人のマカロン」じゃなくな
る！俺が考えたインパクトが消えてしまう…。

塩田…（少し戸惑いながら）でも、販売が中止になってしまったら、元も子もありませんよ。それに、他の社員も心配しています。

汐…（真剣な表情に戻り）：よし、分かった。まずは法律の専門家に相談だ。そして、可能な限りアルコールを残して風味を生かす方法を考えるんだ。俺の目指す「革命的なお菓子」、それを諦めるわけにはいかない。

塩田…（安心して）分かりました、すぐに手配します。法律関係のチェックもこちらで進めておきます。

汐…（微笑んで）頼むぞ、塩田。俺たちは世界を驚かせるお菓子を作るんだ。そのためには、少々の障害なんてへっちゃらさ。

シーン⑨：テキーラマカロン改良版の試食会

（舞台は再び街中の広場。テキーラマカロンの改良版が完成し、～度目の試食会が行われている。今回の試食はアルコール度数を控えめにしたバージョンで行われる。）

汐…（元気よく）さあ、みなさん！今回はさらに進化した「テキーラマカロン」です！ちょっとだけアルコールを減らして、安全で楽しめる味に仕上げましたよ！

（さまざまな人々がブースに集まり、再びマカロンを試食する。カップルや家族連れ、外国人観光客など、前回よりも幅広い年齢層が集まっている。）

若い女性…（マカロンを口にしながら）うん、前回より食べやすくなってる！でも、ちゃんとテキーラの風味が残ってるわね。

若い男性…（一緒に食べながら）確かに。前のバージョンはちょっと強すぎたけど、これはバランスがいいかも！

(次に、年配の夫婦がマカロンを手取る。)

年配の男性：(笑いながら)マカロンでお酒が
楽しめるなんて、若い頃には考えられなかった
なあ。

年配の女性：(食べながら)ほんとね。でも、こ
れなら私たちでも食べやすいわ。お洒落だし、
贈り物にもいいかも。

汐：(満足そうに頷きながら)そうでしょうか？
お菓子の世界に新しい風を吹かせるのは、こ
ういうことなんだ！

(試食会は次々と進行していき、さまざまな
反応が飛び交う。)

外国人男性：(興味津々に)Excuse me, is
this really a macaron with tequila? Very
interesting!

外国人女性：（笑顔で）I, ve never tasted
anything like this before! This is perfect
for a party.

汐：（自信満々に）そうです、テキーラマカロン、世界に広がるんですよ！これで日本だけじゃなく、海外でも大ヒット間違いなしです！

塩田：（少し冷静に）社長、まずは国内での展開が順調かどうかを見てから、海外進出を考えましょう。まだ改善点もいくつかありますし…。

汐：（豪快に笑いながら）改善点だって？俺には見えないがな！ま、塩田がそう言うなら、ちょっとだけ慎重になってもいいかもな。

シーン9：海外進出の計画

（舞台は再びオフィス。試食会が成功した後、汐と塩田が新たな展開を話し合っている。）

塩田…(資料を手にしながらか)試食会の結果ですが、全体的に好評でした。ただし、年配層からは少しアルコールが強いという意見もあります。若い世代には特に人気がありました。が…。

汐…(興奮して)よし、それでいい！若い世代にウケるってことは、将来性があるってことだ！次は海外展開だな。塩田、早速準備に取りかかれ！

塩田…(驚いて)えっ！？もう海外ですか？まだ国内での市場調査も十分ではないのに…。

汐…(自信満々に)何を言ってるんだ！こういうのはスピードが命だ！遅れたらチャンスを逃すぞ！

塩田…(ため息をつきながら)社長のスピード感には毎回驚かされます…。でも、分かりました。とりあえず海外向けの販促資料を作ってみます。

シーン7: 海外での初展示会

(舞台は海外の大規模な展示会場。汐製菓のブースには大勢の外国人が集まっている。テキーラマカロンが目玉商品として展示されている。)

外国人男性:(興味津々に) This is tequila
in a macaron? How does that even work?

外国人女性:(笑いながら) It's so unique!
I can't wait to try it.

(二人がマカロンを試食し、驚きながらも笑顔になる。)

外国人男性:(驚きつつ) Wow! It's
stronger than I expected, but it's really
good.

外国人女性：（笑って）I, ve never had
anything like this before. It, s a bit
strange, but I kind of love it!

汐：（誇らしげに）見たか、塩田！これが世界でも通用するって証拠だ！俺たちのマカロンはもう国境を超えたんだ！

塩田：（微笑んで）確かに、反応は良さそうですね…。でも、まだ改良の余地もあるかもしれません。次のステップはどうしますか？

汐：（笑いながら）次のステップだと？もちろん、さらに大胆な展開だ！今度はラム味のマカロンを考えてるんだ。さらに世界を驚かせてやるぞ！

塩田：（ため息をつきながら）またすごいアイデアですね…。でも、社長らしいです。次も楽しみにしています。

シーン8：エンディング

（舞台は汐製菓のオフィス。展示会から戻った二人が座って話し込んでいる。）

汐…（笑顔で）俺たち、やったな、塩田！ テキ
ーラマカロン、成功だ！ これからもっとすごい
商品を作ってやる。

塩田…（微笑んで）社長の発想は本当に驚き
ます。でも、次は少しでも慎重にお願いします
ね…。世界を驚かすのはいいですけど、毎回
心臓に悪いですから。

汐…（大笑いして）そうか、そうか！ でも安心
しろ、俺はまだまだ止まらないぞ！ 次はどん
な冒険が待ってるか、楽しみにしてくれ！

塩田…（笑顔で）はい、社長。次の冒険も、頑
張ってついていきます。

（二人が笑い合いながら、未来の新作に思い
を馳せる。）

エンディング
